

福富 又三郎

Department of Biology, Washington
University in St. Louis

弱電気魚の感覚運動統合回路における進化と 可塑性

進化・発達による行動の変化は、感覚から運動にわたる神経回路の協調的な変化を伴うが、感覚運動統合回路の変化についてはほとんど調べられていない。弱電気魚は、電気器官から電気パルスを発生させ、コミュニケーションを取る。感覚受容体は、自己及び他者の電気パルスの両方に応答するが、コマンド中枢からの随伴発射によって、自身の電気パルスに対する感覚応答がブロックされる。このような弱電気魚の随伴発射回路に着目し、進化・発達によるコミュニケーション信号の変化との関連を調べた。

*福富さんは今春本学の生命科学院で学位取得後、ワシントン大学セントルイス校で電気魚の電気パルスコミュニケーションの研究をしておられます。今回、日本動物学会シンポジウムで帰国されるのを期に、最新の研究成果についてお話しいただきます。

*本セミナーは大学院共通授業科目「脳科学研究の展開IV-b」の指定講演会です。

2022年9月22日(木)

17:00~18:30

理学部5号館(高層棟)813号室

***体調の優れない方の入場はお断りします。参加される際は必ずマスクを着用し、入口で手のアルコール消毒を行って下さい。**

世話人：小川宏人(内線 3525, hogawa@sci.hokudai.ac.jp)